⑩ 日本国特許庁(JP)

10 特許出願公開

[®] 公開特許公報(A) 平4-53580

®Int. Cl. 5A 63 F 7/02B 42 D 15/10	識別記号 328 329 521	庁内整理番号 6935-2C 6935-2C	❸公開	平成4年(1992)2月21日
G 07 F 7/08 17/32	5 2 1	6548-2C 8208-3E 8111-3E	G 07 F 7/08 審査請求 有	S 青末項の数 1 (今4頁)

②特 願 平2-162188

匈出 願 平2(1990)6月20日

個先 明 百 曽 田 國 幸 東京都台東区東上野3丁目14番9号 サン商事株式会社内 ⑪出 顋 人 サン 商 事 株 式 会 社 東京都台東区東上野3丁目14番9号

砂代 理 人 弁理士 庄司 建治

明細書

1. 発明の名称 遊技場における I C カード等の発 行と景品及び現金の払い出し自動 払い出し交換システム

2.特許請求の範囲

り払い出すようにしたシステムとをもって構成することを特徴とする遊技場におけるICカード等の発行と景品及び現金の払い出し自動払い出し交換システム。

3. 発明の詳細な説明

【産業上の利用分野】

本発明は、バチンコ遊技場における I C カード等の発行と、景品及び現金の自動払い出しと自動交換とからなるシステムの分野に関するものである。

[従来の技術]

従来パチンコ遊技場において、顧客が獲得したパチンコ玉を自動計数機に投入し、パチンコ玉を自動計数機に投入し、パチンコ玉を自動計数し、計数後、磁気カードを発行し、発行された磁気カードを挿入して景品を自動的に払い出す装置と、

さらにバチンコ玉の計数後、玉数に見合う景品と交換し、交換した景品と現金とを自動的に 交換する景品交換システムはあった。

[本発明が解決しようとする問題点]

世来賞球として客が獲得したパチャの一貫ではない。現金と存った。そのの一貫であった。となった。となった。となった。となった。となった。というにはなって終入。景品と現からには、遊技場より相当離れたとを換するためには、遊技場より相当離れた。

さらに、上述とは別個に、カードの発行と、カードによる景品交換システムではなく、パチンコ玉をカウントした後、景品と交換し、これら交換した景品と現金とを現金自動交換をを介して景品と現金とを自動的に交換するシステムはあった。

前者の交換システムは、ICカードを使用するものでなく、偽造、変造等の不正防止が不十分でなかったことと、景品と現金との交換が距離的に不便であった。

後者の交換システムは、ICカードの発行がないので、店員が玉をカウントした後、景品と

り 玉 返 却 装 置 付 き パ チ ン コ 玉 自 動 計 数 機 に よっ て計数し、余り玉は余り玉返却装置を介して返 却せしめると共に、前記パチンコ玉自動計数機 と接続するICカード等の発行機によって計数 された玉数が記録されているICカード等を発 行せしめるシステムと、前記システムによって 発行されたICカード等を景品を収納する景品 自動払い出し機を構成するICカード等の受入 口に挿入させてICカード等に記録された数字 に見合う景品を自動的に払い出させるシステム と、前記システムによって払い出された景品を 現金自動支払い機を構成する景品投入口に投入 し、ついで投入した景品に見合う現金を現金払 い出し口より払い出すようにしたシステムとを もって構成することを特徴とする遊技場におけ るICカード等の発行と景品及び現金の払い出 し自動払い出し交換システムである。

[作 用]

本 発明の作用を説明すると以下のとおりである。

の交換時において景品管理装置に手で入力しながら、 あるいは減算しながらバチンコ玉の総数に見合う景品を客に渡すシステムであってきわめて煩雑であった。

[問題点を解決するための手段]

本発明は、パチンコ遊技場内において顧客が獲得したパチンコ玉を景品管理機と接続する余

上述のようにして発行されたICカード等を別設の景品自動払い出し機を構成しているカード等の挿入口に挿入させる。挿入した際ICカード等が偽造または変造されているときは、返却されるよう真偽職別装置が内蔵されている。

正しいICカード等のときは、所定の景品が 取出し口へと払い出される。

つぎに払い出された景品を、現金自動支払い機を構成する景品投入口へ投入してやる。そのとき正しい景品であるかないかを識別する装置が内蔵されており、正しい景品であると識別し

たときは通過させ、偽造のときは返却する。 景品の 識別後はそれに見合う現金が自動的に支払い口より払い出される。以上によって景品と現金との自動交換処理がなされる。

[実施例]

本発明の実施の一例を説明すれば以下のとおりである。

1 はパチンコ玉自動計数機 a を構成する玉包の投入口部、3 は計数され玉2のデジタル教養 であり、上記計数機 a には余り玉玉自動計数機 a と接続されている。5 はパチンコ玉自動計数機 a と接続している景品管理機 5 と接続されている計数機 a と景品管理機 5 と接続されている記憶装置を有するカード、磁気カード、光方式 I Cカード等の I Cカード 7 の発行機である

b は 景品 自 動 払 い 出 し 機 で あっ て 、 こ の 払 い 出 し 機 b に は 、 I C カード 7 の 挿入 口 部 8 と 景 品 払 い 出 し 口 部 9 と を 有 し て い る 。 そ し て 上 記 払 い 出 し 機 b に は I C カード 7 の 挿入 口 部 8 と

ド等を顧客には、 1 Cの挿では、 1 Cの挿では、 2 でのは、 2 でのは、 2 でのは、 3 でのは、 3 でのは、 3 でのは、 4 でのは、 4 でのは、 5 でのは、 5

- (2) さらに本発明は、ICカード等の発行によって、偽造、変造防止に十分役立てることができる。
- (3) また本発明は、玉の自動計数機から景品の自動払い出しと、さらに景品と現金とを自動的に交換するという、一貫したシステムなので、能率的に、しかも確実且迅速に行うことができる等、本発明は従来に全く存しないきわめてすぐれた利点を有している。

接続している、真偽ICカードの識別装置が内蔵されている。また上記払い出し機b内には、 衆品を多数収納する。上記の識別装置や景品の 払い出し装置については省略する。

cは現金自動払い出し機であって、本発明においては概略図を示したものである。10は上記払い出し機でを構成する景品11の挿入口印であり、この挿入口印10に挿入された景品11が真偽であるか否かを識別させる装置品は1が真偽である。真正な景品11のときは、現金12が払い出し口部13より払い出される。

・本発明の現金自動払い出し機 c においては、現金12を払い出すための送り出し装置等が内蔵されているが省略する。

[効果]

(1) 本発明は、パチンコ玉自動計数機によって 計数されたら、直ちに上記計数機に接続され ているICカード等の発券機によって、IC カード等を発行せしめ、発行されたICカー

4. 図面の簡単な説明

図面は本発明遊技場におけるICカード等の発行と景品及び現金の払い出し自動払い出し交換システムを示す図である。

特 許 出 願 人 サ ン 商 事 株 式 会 社 代 理 人 弁 理 士 庄 司 建 治 a・・・パチンコ玉自動計数機 b・・・景品自動払い出し機 c・・・現金自動払い出し機 1・・・投入口部 2 · · · 玉 3・・・デジタル表示部 4・・・余り玉返却装置 5・・・景品管理機 6 · · · I Cカード発行機 7 . . . 1 C カード 8・・・挿入口部 9・・・景品払い出し口部 10・・・挿入口部 1 1 ・・・景品 12・・・現金 13・・・払い出し口部

